



平成 23 年 3 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション  
代表者名 代表取締役社長 二宮 利彦  
コード番号 1 7 1 2 (東証・名証各第一部)  
問合せ先 取締役企画管理本部長 村上 実  
電話番号 052(611)6350 (代表)  
当社の親会社 株式会社ダイセキ  
代表者名 代表取締役社長 伊藤 博之  
コード番号 9 7 9 3 (東証・名証各第一部)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 22 年 9 月 17 日に発表いたしました平成 23 年 2 月期(平成 22 年 3 月 1 日から平成 23 年 2 月 28 日まで)の通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正

(1) 当期の業績予想数値の修正(平成 22 年 3 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日)

単位: 百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,000	162	150	84	1,412 67
今回修正予想(B)	5,200	130	150	50	835 24
増減額(B-A)	200	32	0	34	
増減率(%)	3.9%	20.0%	0.0%	40.8%	
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 2 月期)	6,991	693	651	377	6,310 04

#### (2) 修正理由

土壤汚染対策市場においては、昨年 4 月 1 日よりスタートした「改正土壤汚染対策法」に対する対応についてやや混乱が見られ、当初の予想より市場の回復が遅れておりますが、中期的には改正法対応に関する混乱は終息し、不動産市況や設備投資需要の持ち直しとともに土壤汚染対策市場も緩やかに回復に向かうと思われまます。しかしながら、当期の第 4 四半期は、いまだ回復の兆候に乏しく、平成 23 年 2 月期の売上高は、予想数値をやや上回る見込みですが、受注単価の下落傾向は継続したことと、資産除却等による特別損失が発生したため、営業利益、及び当期純利益が平成 22 年 9 月 17 日に公表した予想数値を下回る見通しであります。なお、受取配当金等の増加により、経常利益は予想数値とほぼ同等の見込みです。

\* 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上